イノベーションセミナー
<大学と創業>　総括説明

- 大学から世界を変える
  - 起案の背景
  - 3%によるイノベーションを
  - 11月祭勝手参画企画
  - 講師：提起内容
  - 藤田の経験と課題
    - 70年代：政治的変革
      - 1970年合格電報が届いたときテレビではよど号ハイジャックを報道
      - 1972年三里塚(成田空港)に妨害鉄塔：開港延期へ
      - 1972年沖縄返還：日米安保体制の再編として争点化
      - 1972年テルアビブ空港事件：日本人3名が関与
      - 1972年伊方原発設置許可：反対行動の中「自然科学を志す者はその発展に対して楽観的であるべき」
      - 1975年ベトナム戦争終結：アメリカ、日本を含み世界的な反戦運動
    - 社会人としての生き方
      - 日立系ソフト会社：入社時900人の会社今合併もあり2万人へ＝ニーズ拡大
        - 組織においても行動基準は自分自身で創る：進むか止まるか/さらに上へ/どこで引くか
        - 「データベース白書」専門委員をきっかけとしてライフワーク発見
      - 会社がオフコン販売へ特化の方針＝＞5名のグループで転職・いくつかの誤算
      - ソフト流通の会社で開発会社とユーザをつなごうと企画＝＞会社が破たん危機＝＞代表を2週間
      - 10名でデータベース流通専門会社として起業：PDFからXML変換をテーマにIPO
        - 基準があることは自分の絶対時間投入で解決できる。
        - 非公式な人的つながりは時間・労力を大きく削減する
        - 市場開拓はそうはいかなかった。代表辞任
      - よりコンテンツに特化した市場を追究
    - 現代：ITによる変革
      - ハードからソフト・サービスへ：Cisco/Sun/SGIからYahoo/Google/FaceBook
      - AIとの対比で、自分の個性、独創性をどう確立するか？
      - 危険な傾向
        - 札束で独占：巨大資金でめぼしい技術を芽で買取る。新たな独占者。
        - 失敗がない成功率が高い起業ガイド＝まず大企業で
        - 「大学固有の知的資産」活用の呪縛
      - 荒唐無稽な発想
        - Facebookはハーバードの学内出会い系サイトから：成功ストーリーは事後編集
        - 授業8割出席で満足できているか？「ラクダ」を脱却して、「ライオン」期の批判を
        - 2年ほど没頭してみるテーマはないか？
          - 他人の課題も可
          - 3名で18か月やれば3000万円の開発プロジェクト
        - 3%は現状を打破し、20%は刺激への期待感と想定
      - 必要な周辺支援
        - 徘徊するブローカに代わり資金提供ファンド
        - 既存支援機関が機能するためのつなぎ機能
    - 私の実践提案テーマ
      - 数理解析研究所　データ解析研究生として
      - 1.レシピ画像からの栄養素、カロリー判定サービス
      - 2.株価オプション取引のシュミレーション情報サービス
        - 膨大な取引実績データ処理。
        - ブラックショールズモデルの前提：完備性を否定
        - 論理的整合性ではなく実態データ優先　W
      - 3.ボイラなど機器保守レポートの有効活用サービス
        - 活用できていない自然言語記述レポートの山
        - Iotの進展と対照的な実態
        - 個別の言葉の表現不一致などが障害＝＞自然言語処理技術の適用
          - 一般化データ構造案20180730.pdf
    - 個別プロジェクトの出口：Exit
      - 学内協力者確保＝＞資金調達して開発、運営
        - 既存ベンチャーキャピタル
        - ICOも選択肢
      - 関連サービス企業へ譲渡
      - 失敗/飽きた時学生は授業に戻る